|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 2025第1,2,3 RUTC永遠の答えの始まり(24)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | | |
| 2025年6月14日　週間祈りカード | | | |
| △産業宣教/金土日時代のやぐら20  金土日時代のモデル – 癒やし(使13:1-12) | △RTとTCK伝道学/三つの庭のモデル20  重職者が準備する未来(マタ27:25) | | △核心/ 世界重職者大会  7答えのためのやぐら、旅程、道しるべ(使19:1-21) |
| □序論\_癒やし以前  1.根源的なことを先に癒やし  1)私たちの以前のこと　2)現実  3)私たちの以降にある多くのこと  2.祈り癒やし  1)やぐら　私たちに神様のやぐらが作られるべき  2)旅程　祈りで旅程を行くことができて  3)道しるべを建てることができる。  3.生活癒やし  1)霊的サミット祈りの力をいつも味わっていれば  2)技能サミット3)文化サミットになる。  △癒やし以前の癒やしは教会で、福音を持って、この価値を知っている人にだけ可能だ。一言で根源的な力がなければならない。  □本論\_実際の癒やし  1.霊的癒やし  1)永遠前の問題(12戦略)　サタンが12戦略で永遠前から問題を起こした。  2)残ったこと　救われたのに私たちに残ったことがとても多い。  △教会は困難にあえば、ほとんどすべての重職者は福音がなくなってしまう。信徒が困難を受けるときは、しきりにここにひっかかる。皆さんが病気になれば悩みに捕われてここにしきりにひっかかるのだ。そのまま死ぬ覚悟して恐れずに霊的戦いを始めれば良い。  3)変えること(刻印-根-体質)刻印、根、体質を変えれば驚くべき働きが起こる。  2.病気癒やし  1)祈り癒やしの奥義(Ⅱコリ12:1-10)病気になっている人は、病気を忘れるほど祈りの中に入るのだ。  2)みことば癒やしの奥義(ハガ2:1-9)このみことばは天と地と海と陸と国々を揺り動かすと言われた。確実なみことばを握って祈りの中に深く入って力を受けるようにさせなければならない。  3)証拠の奥義(使1:8)ただ聖霊があなたがたの上に臨めば証人になると言われた。証人は、証拠を持ったということだ。  3.未来癒やし  金曜日はフォーラムもして本当に話しなさい。特別な患者がいれば夜中祈る。金曜日に信徒1人1人に関心を持って呼んでフォーラムしなさい。以前にすること、今すべきことがある。  1)不安(問題-答え)なぜ不安なのか、確実な答えを与えなければならない。問題が何か、答えが何かをみことばから見つければ、それよりさらに力になることはない。みことばが確実ならば成就される。  2)ネフィリム癒やしをしなければならない。  3)精神(心、考え)心と考えが病んでいると精神が難しくなるしかない。  □結論\_だれでも  福音を持っている人は、だれでもすることができる。また、この癒やしはすべての人に該当する。 | 「重職者が準備する未来」はレムナントだ。  □序論  1.わざわい  1)大人たちの間違い  2)国家も問題  3)宗教指導者が問題  2.傷-誤解-次世代は家でも、学校に行ってさえも、教会に行っても傷を受ける。ほとんど誤解をたくさんした状態であるために、教会で金土日時代で助けなければならない。  3.荒廃-祈り-レムナントは霊的状態が荒廃している。レムナントが祈ることができるなら、すべてが解決されるが、実際に祈ることができない。土曜日にこれを助けなければならない。  □本論  1.マタ27:25 -この血の値を次世代にということは、私たちがすることが正しいという意味もあるが、次世代に問題が行くということを前提にしたこと、それゆえ、２千年間(AD70から1948年まで)ユダヤ人が国がなくなりさ迷った。 | 2.ルカ23:28-イエス様が十字架を負って行かれるとき、「わたしのために泣かずに、あながたがの子どものために泣きなさい」と言われた。  3.ヨハ21:15-18神様のみことばが成就されることだけが答えだ。イエス様が「子羊を飼いなさい」と言われた。  4.会堂-これを分かるパウロの本当の目標は会堂だった。そこでキリストと礼拝、祈りの答えが何か教えた。  5.ローマは全世界の次世代が集まっている。私たちがアメリカにRU目標を置く理由だ。  □結論\_新しい確立  レムナントが外に出て行く前に、新しい確立をしなければならない。それゆえ、金土日は最高に重要なチャンスだ。そこで真剣なフォーラムをしなければならない。証しも重要だが、それよりみことばフォーラムをしなければならない。 | 皆さんは7答えのためのやぐら、旅程、道しるべに行かなければならない。  □序論\_今起きている答え  Iサム7:1-15、Ⅱ列6:8-24  ミツパ運動(ミツパに集まって契約確認)、ドタンの町運動が起きる祝福、主日礼拝はマルコの屋上の部屋で起きた働きが始まる日  御座、神の国、神の国のこと-このとき、御座のやぐら、旅程、道しるべが成り立って、契約を握るとき、神の国と神の国のことが成り立っているのだ。  □本論  1.毎日味わう重職者マニュアル  1)サミット集中時間(朝、力) -プラットフォームになる。  2)サミット目標(300%) -他の人を生かす見張り台となる。  3)サミット答え(5流れ祈りの中で確認) -神様、人と通じるアンテナとなる。  4)サミット身分(見張り人、7･7･7毎日味わいなさい) -時空超越  5)サミット権威(記念碑を建てること) -空前絶後  6)サミット伝道(答えを与えること) -地域を生かす。  7)サミット宣教(3キャンプ-聖霊導き、聖霊働き、聖霊実) -一つの国を生かすようになる。  △これを毎日祈れば霊とからだがみな生かされる。  2.ことがあるとき、重職者の背景であるやぐら、旅程、道しるべを味わわなければならない。  1)使13:1-4聖霊の導きを受けなければならない。人、場所、ことを確実になる時まで動いてはならない。  2)使13:5-11聖霊の働きの基準はネフィリムが縛られることだ。  3)使13:12システムと未来が作られる。  3.未来準備  1)のがしたこと-三つの庭　2)捨てられたこと(次世代)-金土日時代  3)わざわい(祈つことを知らない人々) -黙想時代を開かなければならない。  □結論\_始まり  1.病んだ者に会いなさい。  2.新しい家族に会いなさい。  3.多民族(RT)に会いなさい。  「今日はだれを会おうか」毎週考えてみれば教会全体に関心を持つようになる。  4.家族にすること-一生1人でも良い。重要なことをひとりがしても神様は働かれる。  5.24チーム(ロマ16章の答え) – 24、25、永遠チームが構成される。皆さんが5つをほんとうにしていれば作られる。  △今回はこの5つを持って行きなさい。 |
| △散らされた弟子たち/7∙7∙7のモデル20  重職者の散らされた弟子たち(ロマ16:17-20) | |
| ※散らされた者(私たちの目が向かなければならない所)-宣教師、外に出て行ったレムナント、困難にあっている人、237-5000種族に敷かれている人々  1.イザ6:13レムナントを送りなさい、育てなさい。 | 2.使11:19迫害を受ける者、散らされた者、困難にあっている人を探しなさい。そこには必ず計画がある。大きな困難の中での出会いがアンティオキア教会になり、ここで宣教師派遣、パウロとロマ16章の答えの人物が起きた。  3.ロマ16:1-27目標-皆さんは支援者、同労者、家主、持っているものがなくても労苦する者、同胞（親戚）、近くでとても愛する者だ。彼らに世々にわたって隠されていたこと、とこしえまであることを、今約束された。 |
| 2025第1,2,3 RUTC永遠の答えの始まり(24)　 (社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | | |
| 2025年6月15日　週間祈りカード | | | |
| △区域メッセージ第24週/２部：私とレムナントに刻印させること  キリスト24•25•永遠(ヘブ13:8) | △聖日１部  その日以来(Iサム3:19) | | △聖日２部/神殿建築献身礼拝  エジプト偶像を癒やす神殿(出3:18-20) |
| △朝には力を受ける祈り、昼には答え確認、夜にはみことばで答えを出す祈り。主日にはみことばと祈り、伝道の流れを見て集中祈り  □序論\_キリスト-キリストが与えられたこと  1.逃しやすいこと  1)ユダヤ人-神様が一番最初にユダヤの国に福音を与えられたが逃した。  2)使11:1-18ペテロと初代教会も福音を逃した  3)中世教会(ヨハ2:1-11) -イエスが水をぶどう酒にされた事件。イエスに話した人がマリアなのでマリアの名で祈る。それゆえ、中世教会は滅びた  4) 237大きい国に行けば博物館があるが、絵がマリアをみな高める。  5) 5000 -みなネフィリムに陥っている。凄じいほど暗闇に陥っている。  2.答え-キリストで答えが出た人にはどんなことが起こるのか  1)ヨハ19:30完了した。ほかのものは必要ない。  2)マタ17:1-9エリヤも、モーセも必要なくて、イエスだけが残った  3)マタ16:13-20 「あなたは生ける神の子キリストです」岩の上に教会をわたしが建てる。よみの門があなたに勝つことができない。天国の鍵を与えます。  3.ロマ16章の人々  1) 3集中-ただ時間を定めて　2) 3セッティング作られるしかない  3) 3答え-行く所に答え、更新、機会が出てくる。  □本論\_キリストが与えられたこと  1.身分  1)ヨハ1:11、12この光を受け入れた人々、その名を信じた人々には神の子どもとなる特権を  2)マタ5:13-16私たちは世の光、この光をつければ行く所に暗闇が崩れる。  3)Iペテ2:9王のような祭司。この光を現わすために呼んだ。  2.権威  1)使3:1-12イエス・キリストの御名で祈ることができる権威を  2)使4:12天下に救われるほかの名は与えられていない。  3)使8:4-8サマリアに行ってキリストを説明した。  4)使16:16-18悪霊につかれた占い、悪霊につかれた人々にパウロがナザレのイエス・キリストの御名で命令した。これが権威だ。  5)ピリ3:21万物を服従させるナザレのイエス・キリストの御名で祈りなさい。  3.生活　1) 24味わい　2) 25待つこと　　3) 永遠　挑戦  □結論\_ 5時刻表(永遠の前、受肉、復活、再臨、さばきの主として来られるキリスト)  やぐら、旅程、道しるべ-キリストが私たちのやぐらだ。40日間神の国のことが旅程だ。エルサレム、サマリア、地の果てまでが道しるべだ。 | □序論\_不治の病、うつ病、難しい環境  1.このようなとき、誤った祈りをしたり、答えではないことを答えだと考える  1)衣食住が答えだと考えたアブラハム-創12:1-3が真の答え  2)飢えて死なないで行くことを答えと考えた荒野を行く人々-神様が準備された幕屋、契約の箱、三つの祭りが真の答え  3)ペリシテに勝つことを答えだと考えた-力を蓄えてペリシテ福音化することが真の答え  2.答えを受ける道-神様の神殿、神様のやぐらがサムエルに先に臨んだ(Iサム3:19)  1)私の中に主のやぐらを先に建てなさい。  2)主の神殿になるようにしなさい。  3)神様のみことばが臨むようにしなさい。神様の聖霊が働くように待ちなさい。  □本論  1.主のやぐらと神殿が建ってみことばが臨んだサムエル(Iコリ3:16)-天命  1)契約の箱のそばに横になったサムエル  2)神様の御声を聞いたサムエル-天命が臨んだ  3)その日以降、サムエルのことばを主は地に落とされなかった。  2.主のやぐらと神殿を持っているサムエルの祈りは一言も地に落とされない(Iサム3:19)-召命  1)主のやぐらと神殿を持っているサムエルの祈りは霊的戦いに変わる。  (1)ペリシテが攻め込んで契約の箱を奪って行ったとき、サムエルの祈り  (2)契約の箱が到着したところごとに臨んだわざわい-アシュドデとダゴン神殿、ガテ、エクロン  (3)戻って来た契約の箱  2)主のやぐらが建った人、神殿になった人の祈り-暗闇を打ち倒し、ほかのところに影響を与える。  (1)この岩の上にわたしの教会をわたしが直接建てます(マタ16:18)  (2)よみの門があなたに打ち勝てない(マタ16:18) -やぐらが変わったため  (3)天国の鍵をあなたにあげます(マタ16:19)  3)召命-あなたを主のみことばが臨む神殿、主のやぐらとして建てる(祈りで勝利したサムエル)  3.ミツパ運動-主の神殿、やぐらが作られた者の使命  1)すべての偶像を捨てて祭壇の前に出て来なさい。  2)ペリシテをあらかじめ倒された神様  3)戦わずに勝つ霊的な力-サムエルが生きている間ペリシテ(暗闇)が攻め込むことができなかった。  △この力を養いなさい。親が霊的な力を持って祈るときに起こったこと-ヤコブとヨセフ、ヨケベデとモーセ  □結論  1.マタ4:19　 2.マタ11:28 　3.マコ3:13-15  4.マタ28:18、20 　5.マコ16:19-20　 6.使1:3  ※根源的な力を養いなさい-私に家系、世の中、現場を生かすやぐらが与えられて、確実な契約と神殿が臨みますように。 | | なぜ神殿建築を話すのか確実な理由を悟らなければならない。イスラエルが奴隷として死ぬことになったとき、血のいけにえをささげに行きなさいと言われた。暗闇を打ち倒す解決策だ。  □序論\_暗闇偶像神殿  1.先進国現場  1)ネフィリム文化-暗闇神殿を作るのにイスラエルが仕えている。  2)ネフィリム企業-300%握って出て行かなければならない。神様が私に完全なこと準備、現場も準備しておかれた。未来まで準備しておかれた。  3)ネフィリム次世代を作っている。  2.中進国-偶像(家、路地)  3.後進国  △この暗闇に陥った者を癒やすことが私たちの使命だ。  □本論\_最後重要な体験- 24祈りの人(祈りの中に入っている人)  25答えの人、永遠 記念碑を残す人  1.出3:18の神殿を作りなさい。イスラエル-先に光が現れるべき  1)出2:1-10(王宮の光) -モーセを送られた。  2)出3:1-10完全に奴隷になったイスラエル  3)出3:18 80歳(光) -モーセが80歳のときに、モーセを指名された神様  血のいけにえ-わざわい、サタン、地獄の背景を完全に贖う力  2.出5:1-12:46出エジプトする神殿を作りなさい。エジプト-光を放ちなさい。  1)10わざわい-エジプト偶像を打ち倒して光を照らした事件  2)ファラオ-最後まで悟ることができない。  3)血を塗る過越祭で完全に降参-サタンはこれにだけ降参する。  △完全に終わった。なぜ困難が来るのか。重要な理由がある。  3.荒野に勝つ光-荒野に光を照らさなければならない。これがカナンの地に伝えられる。  1)三つの祭りの証拠を見る幕屋　2)契約の箱がある幕屋  3)荒野の契約の幕屋  5つ－すべての問題の始まりと解答である創世記、暗闇から抜け出す出エジプト記、礼拝が何か正しく悟るレビ記、イスラエル民族とカナンの地を確かに配分される民数記、今まであった働きを次世代に刻印、根、体質とさせる申命記  △苦難を受けることもにも祝福の理由がある。  □結論  1.イエス様の最後の現場メッセージ(ヨハ2:12-25) -三つの庭がある神殿  2.イエス様の最後の講壇(使1:3) - 40日間神の国のことを語られた。金土日時代を開きなさい。  3.イエス様が残された最後の弟子(使19:8) -隠されたことを見つけ出す黙想時代、黙想は神の国が成り立つこと |